

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

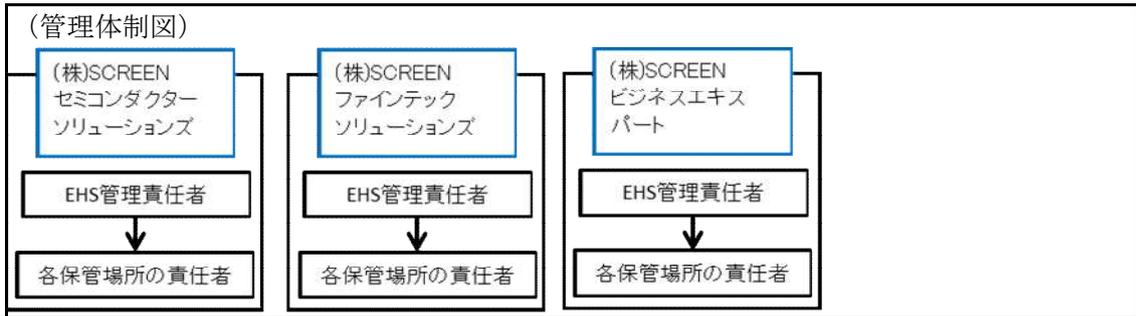
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		2023年 6月 1日
滋賀県知事 三日月 大造 殿		
提出者		
住 所 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1番地の1 氏 名 株式会社SCREENホールディングス 取締役社長 廣江 敏朗 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 075-414-7111		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社SCREENホールディングス 彦根事業所	
事業場の所在地	滋賀県彦根市高宮町480-1	
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	26 生産用機械器具製造業 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置製造業	
②事業の規模	3,970億円(半導体機器事業とディスプレイ製造装置および成膜装置事業の売上高合計)	
③従業員数	1,014人(2023年4月現在)	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添【産業廃棄物の一連の処理工程】のとおり	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類 現状と計画」のとおり								
	排出量	1426.9 t	t							
	(これまでに実施した取組) ・ 分別の徹底による有価物化 ・ 汚泥の脱水、乾燥処理 ・ 処理業者の定期的な査察による適正な処理確認 ・ 梱包材/緩衝材や木製パレットの有価物化									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類 現状と計画」のとおり								
	排出量	1419.7 t	t							
	(今後実施する予定の取組) [廃プラ類の抑制] ・ 分別を徹底することで更なる有価物化の推進 ・ 一部製品素材の再利用化の検討 SCREENセミコンダクターソリューションズ：プラスチック排出抑制目標 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018年度 (基準年度)</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度 (目標:基準年度5%減)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出荷重量原単位</td> <td>30.23 kg/t</td> <td>36.03 kg/t</td> <td>28.71 kg/t</td> </tr> </tbody> </table> [木くずの抑制] ・ 緩衝材や木製パレットの再利用化推進 ・ 分別の徹底 [リサイクル率の向上] ・ 廃棄物の固形燃料化、破砕チップ化による資源リサイクルの推進				2018年度 (基準年度)	2022年度	2023年度 (目標:基準年度5%減)	出荷重量原単位	30.23 kg/t	36.03 kg/t
	2018年度 (基準年度)	2022年度	2023年度 (目標:基準年度5%減)							
出荷重量原単位	30.23 kg/t	36.03 kg/t	28.71 kg/t							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 社内分別管理表による分別 ・ 社内WEBでの分別方法の掲示
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現在の方法の継続維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	650.3 t	t
(これまでに実施した取組)			
汚泥の脱水処理			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	647.0 t	t
(今後実施する予定の取組)			
現状維持（汚泥の脱水処理）			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類 現状と計画」のとおり	
	全処理委託量	776.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	339.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	740.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	21 t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・排出物の分別徹底により有価物化を進め、廃棄委託量を減少させる。 ・再生利用業者への処理委託を行う。 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類 現状と計画」のとおり	
	全処理委託量	772.7 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	338.2 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	736.6 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	20.9 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・排出物の分別徹底により有価物化を進める 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添

【産業廃棄物の一連の処理工程】

発生源	廃棄物の種類と事業所内処理の流れ		収集運搬	中間処理/処分・リサイクル方法等		
製造工程	廃プラスチック	→	→	RPF化		
	木くず			RPF化・破碎チップ化		
	金属くず			→	焼却	
	ガラスくず			→	破碎・埋立	
	廃蛍光灯			→	→	破碎・選別、リサイクル
	廃電池					
	廃電気機械器具					
	廃油	→	→	焼却・混合化(助燃材)・中和、リサイクル		
	廃酸					
	廃アルカリ					
	汚泥	→	→	リサイクル(セメント材料等)		

産業廃棄物の種類 現状と計画	汚泥		木くず		廃プラスチック		金属くず		ガラス、コンクリート、陶磁器くず		廃油		廃酸		廃アルカリ		水銀使用製品産業廃棄物		廃電気機械器具		混合廃棄物		合計		
	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)	現状 (前年度実績)	計画 (日 割)							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																									
排出量	976.2 t	971.3 t	199.1 t	198.1 t	243.3 t	242.1 t	0.29 t	0.3 t	1.50 t	1.5 t	4.9 t	4.9 t	0.1 t	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.38 t	0.4 t	0.57 t	0.6 t	0.54 t	0.5 t	1,426.9 t	1,419.7 t	
これまでに実施した取組																									
今後実施する予定の取組																									
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																									
自ら再生利用を行った(行)産業廃棄物の量																									
これまでに実施した取組																									
今後実施する予定の取組																									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																									
自ら熱回収を行った(行)産業廃棄物の量																									
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	650.3 t	647.0 t																					650.3 t	647.0 t	
これまでに実施した取組																									
今後実施する予定の取組																									
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行)産業廃棄物の量																									
これまでに実施した取組																									
今後実施する予定の取組																									
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																									
全処理委託量	325.9 t	324.3 t	199.1 t	198.1 t	243.3 t	242.1 t	0.29 t	0.3 t	1.50 t	1.5 t	4.9 t	4.9 t	0.1 t	0.1 t	0.0 t	0.0 t	0.38 t	0.4 t	0.57 t	0.6 t	0.54 t	0.5 t	776.6 t	772.7 t	
優良認定処理業者への処理委託量	325.9 t	324.3 t			7.24 t	7.2 t	0.13 t	0.1 t	1.06 t	1.1 t	4.9 t	4.9 t	0.1 t	0.1 t	0.0 t	0.0 t			0.00 t	0.0 t	0.54 t	0.5 t	339.9 t	338.2 t	
再生利用業者への処理委託量	325.9 t	324.3 t	199.1 t	198.1 t	215.3 t	214.2 t	0.01 t	0.0 t															740.3 t	736.6 t	
認定熱回収業者への処理委託量																							0.0 t	0.0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					21.0 t	20.9 t																	21.0 t	20.9 t	
これまでに実施した取組																									
今後実施する予定の取組																									